

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスはろ

支援プログラム

作成日

2025年

2月

8日

法人（事業所）理念		ひとりひとりに深い愛情を注ぎ「もうひとつの我が家」を目指し、子ども達が安心してできる環境を提供します。またひとりひとりの個性を尊重し、みんなが笑顔で生活することができるよう子ども達の育ちと家庭を支えます。								
支援方針		自分の思いや気持ちが言える安心安全に過ごせる居場所を目指します。遊びや学習など様々な活動を通して「生きる力」をつけ社会的健康を目指します。								
営業時間		11時	00分	から	20時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握します。 睡眠や服薬、食事等を把握し、生活リズムの安定を図ります。 基本的な生活スキル獲得のために自分で身支度や物の管理、整理整頓ができるようにします。 健康チェック、入退出時の手洗いうがいの促し、視覚支援（スケジュールや手順の掲示）入退出時の持ち物の片付けや準備、忘れ物がないか確認、排泄、身だしなみや清潔の確認								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや課題を通して身体や手先の使い方の方法を伝えます。 お子さんの運動機能や感覚の感じ方にあわせて、課題を設定します。 さまざまな感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚）などを取り入れた遊び 感覚の感じ方（鈍感、鈍感）への配慮 工作活動 ヨガ 音楽活動								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習や学ぶ習慣を身につけることができるようにします。 自分の得意なことや苦手なことを知り、自己理解をしていくことを促します。 自分の気持ちや行動について整理しようとするなど適切な行動への支援を行います。 小集団における認知の偏りへの配慮、視覚支援（スケジュールや手順を自分で作成することで確認、行動することを促す）概念形成や学習を促す教材 受験対策 学校からの課題や宿題、復習を行う 学ぶ意欲を養う								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 「顔を見る」「話を最後まで聞く」など意識し、相手の話を聞き、理解する姿勢を養います。 自分の思いや要求の相手への伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。 机上課題などを取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き向上のための支援を行います。 プリント課題、小集団遊び								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 自分の感情や気持ち伝えることができ、情緒の安定を図ります。 勝敗などの課題設定、ソーシャルスキルトレーニング 友達とのやりとりや交渉、気持ちのコントロール、ルールを守る								
家族支援		お子さんの発達や子育てに関する悩みなど、ご家族から相談に応じ、一緒に考えます。			移行支援		移行先の子ども園、保育園、学校、施設などの関係機関と連携しスムーズな移行を支援します。			
地域支援・地域連携		こどもや家庭に関わる関係機関と連携を図りながら包括的に支援します。			職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。			
主な行事等		季節の行事を日々の日常に取り入れ（製作活動）季節の変化を感じ日本の文化を伝えます。								